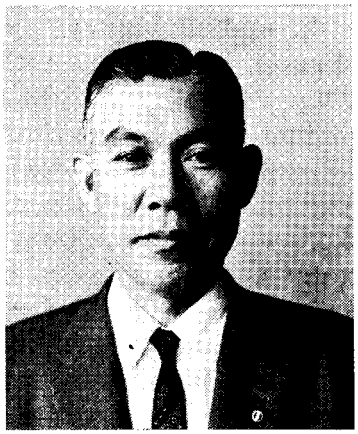
訃　報



元副会長　**渡　辺　喜一郎氏**

略　　歴

明治42年6月3日生
昭和6年3月　福井高等工業学校機械科卒業
昭和6年10月　山陽中央水電株式会社入社（昭和8年退職）
昭和8年11月　株式会社石川島造船所入社（昭和10年退職）
昭和10年2月　東京電灯株式会社入社
昭和14年4月　日本発送電株式会社引継入社
昭和24年4月　同社火力部工事課長
昭和26年5月　中国電力株式会社引継入社
昭和31年9月　同社　新宇部火力発電所建設所長
昭和34年9月　同社　火力部次長
昭和35年11月　同社　火力部長
昭和37年5月　同社　理事火力部長
昭和39年5月　同社　取締役に選任，企画室長委嘱
昭和41年5月　オペレーションズ・リサーチ学会評議員
昭和41年8月　オペレーションズ・リサーチ学会中国四国支部支部長
昭和42年11月　同社　常務取締役
昭和43年5月　日本オペレーションズ・リサーチ学会副会長
昭和47年5月　同社　取締役副社長
昭和50年5月　中国電機製造株式会社取締役社長
賞　罰
昭和48年10月　藍綬褒章
昭和52年7月　勲三等瑞宝賞

渡辺喜一郎氏を悼む

元副会長，元中国四国支部支部長渡辺喜一郎氏は去る7月16日永久の眠りにつかれました．

かえりみますと，41年中国四国支部設立にあたり支部長の任を快くお引き受けくだされ，揺籃期の支部の基盤をきずかれ，中国，四国の広い地域にわたる少ない会員の増加と融和をはかられ，41年秋，広島ではじめて研究発表会を開催するにあたっては，少ない会員の陣頭指揮にあたり，いまでも思いだすような立派な研究発表の場を与えていただきました．

このたび12年ぶりに研究発表会を広島で開催するにあたり，渡辺支部長のおかげで支部会員，発表件数のふえた学会のようすをご披露し，喜んでいただこうと思っていたやさき，ご逝去の報を聞き残念でなりません．

当時渡辺支部長は中国電力において，取締役，常務取締役としてご多忙のなかを，学会の会合には率先してご出席くだされ，私たち会員の発言を温容な大人の目をもってご指導くだされ，若い学会，支部を発展させようとなされた学問的情熱は忘れることができません．

渡辺支部長はご経歴のように，火力発電の揺籃期から今日の大成長発展期にわたり火力発電部門に身をおかれ中国地方の火力発電の育ての親といえる方ですが，その間電力部門のＯＲの成果といわれる火力経済運用に対し昭和25年当時から燃料費のインクリメント法（グレジェント法）を提唱され，燃料費の節減をはかる方式を実践され，また新宇部発電所建設にあたり，地元の低品位炭の積極的活用をはかるため，独自のプラント設計を試み，新機軸を開かれておられました．これらはＯＲを身をもって実践された例であり，文字どおりの実践的ＯＲの先駆者といえる方です．

今日中国電力は電力会社，否，社会においてもっともＯＲを実践している企業でありますが，このいしずえは渡辺支部長のご指導のたまものではないでしょうか．

私たち支部会員は渡辺支部長のお教えを引き継ぎ，支部発展に努力することが，なによりのご恩返しと信じております．

（青木兼一：副支部長，広島大学）

© 日本オペレーションズ・リサーチ学会．無断複写・複製・転載を禁ず．